2015年度
インド・プネ「シンビオシス国際大学 IT 研修プログラム」

2015 年 4 月 情報理工学部・情報理工学研究科

1．趣旨・目的

情報理工学部/研究科「インド・プネ シンビオシス国際大学海外 IT 研修プログラム」は、インドのプネ市にあるシンビオシス国際大学で集中的に学ぶ IT 教育プログラムです。より高いレベルの英語運用能力・異文化適応能力の養成を図ることに加え、インドプログラムは、世界規模で進展する IT 産業界を体感できる IT 先進国において、専門的でかつ実践的な IT の知識・技術を学ぶものです。3・4 回生の学部学生、および情報理工学研究科博士課程前期課程に所属する学生で、基礎的な IT 知識（主にオブジェクト指向技術）および英語の基礎学力（TOEIC500 点以上が望ましい）を持った学生を主たる対象に実施します。

■高度な IT 知識・技術を修得する！

IT 技術、特にオブジェクト指向技術は、将来 SE を目指す学生にとっては重要な核技術であり、世界に通用するソフトウェア技術者になるためには必須と言えます。 研修の実施を委託する（株）ソフトブリッジ・グローバルスタディーズは、東芝、凸版印刷、NEC、日立などの日本のトップ IT 企業の SE に対して英語による中・長期の滞在型 IT 技術研修を実施するなど、IT に関する教育訓練について十分な実績を持っています。講師はシンビオシス国際大学の教員です。このような環境でオブジェクト指向技術に関する知識や技術を体系的に学習することを通じて、IT 核技術に関する専門知識を深めるとともに、実際に活用する技術を身につけます。

■IT 産業の世界的な進展を体験する

インドは、世界有数の IT 教育水準を誇り、欧米向けのオフショア開発を中心に IT 産業において急激な成長を遂げた IT 大国です。米国企業のコールセンターの夜間対応を担うとともに、ソフトウェア開発基地として欧米の IT 産業から巨額の投資を受けるなど、その役割はマスコミにも大きく取り上げられています。今回のプログラムでは、その IT 大国で IT 技術を修得するとともに、IT 企業を実際に訪問することで、世界のソフトウェア開発現場の最前線を肌で感じ取ることができます。また （株）ソフトブリッジ・グローバルスタディーズではインド人 SE も日本語で IT 技術を学んでおり、交流の中から、現地の IT 技術者の技術レベルや生き方に触れることができます。

■英語で学ぶ！

すべてのプログラムは英語で行われます。世界の IT 技術の公用語は英語であること、日本企業も海外にオフショアでソフトウェア開発を外注する傾向が加速しており、仕様打合せなどで英語を使用する機会が急増していること、多数の外国人技術者を雇用する日本企業が増えてきていることなどを考えると、英語で IT 技術を学ぶことは不可欠です。また、世界で英語を話す人の数がもっとも多い国がインドなのです。

2．基本情報

（1）派遣国　インド・プネ市

（2）研修期間　2015 年 8 月 8 日（土）～9 月 11 日（金）（予定）
※フライトスケジュールなどにより日程が変更になる場合があります。

（3）募集条件　情報理工学部 3・4 回生、情報理工学研究科博士課程前期課程 1・2 回生
①TOEIC®400 点以上（TOEFL®の場合、PBT（Paper-Based-Test）435 点以上、iBT(internet-Based-Test)41 点以上。TOEIC Bridge®141 点以上、IELTS の場合、5.0(Academic Module)以上）、もしくは前年度の語学成績で文部科学省成績評価係数 2.30 以上（GPA3.5 程度）

＊上記を条件とするが、TOEIC®500 点以上が望ましい。
②基本的なＩＴ知識（特にオブジェクト指向技術）を有する者が望ましい。
③事前講義および事後講義への出席、帰国後のレポート提出
（事前講義は、6/4、6/11、6/18、6/25、7/2 の 18:00～19:30、
事後講義は 10/10 の 12：30～17：30 を予定）
＊事前講義、事後講義に出席しない場合、派遣選考の取り消しまたは科目不合格（F 評価）になることがあります。

（４）募集人数　15～20 名程度
※応募者数が催行最少人数に達しない場合、中止となる場合があります。
※英語開講専門科目アドバンスト・コース受講者は優先的に受け付けます。

（５）滞在先　シンビオシス国際大学近くの長期滞在型ホテル（期間中一部にホームステイあり）。

（６）パスポートの取得　パスポートは、インドが求める残存有効期間を満たしていることを確認してください。
残存有効期間を満たしていない場合は、航空機への搭乗とビザの取得ができません。
あらかじめ新規パスポートへの切替発給申請を行なう必要があります。申請・取得には日数を要しますので、応募時に必ず確認してください。
パスポートを持っていない（有効期限切れを含む）場合は、5 月 13 日（水）までに最寄りのパスポートセンターで取得申請をしてください。選考結果発表時（5月21日（木））の段階で未申請の場合は、採用を取消す場合があります。

（７）ビザ　観光ビザの取得必要です。
※国籍によっては、別途手続きが必要になる場合があります。

３．研修内容

内容		時間	
IT・語学研修	Business English	9	126
	Technical English & SDLC Overview	9	
	Introduction to SDLC Project	96	
	Requirements Engineering		
	Solution Engineering		
	Solution Construction		
	Industrial Visit	6	
	Final Presentation	6	
文化研修	遺跡旅行(Ajanta/Ellora)（オプション）	1 泊 2 日	
	NGO 訪問	1 日	
生活体験研修	ホームステイ	1 泊 2 日	

４．受講条件・単位授与

プログラムの修了者には、2015 年度後期開講科目として 4 単位が授与されます。成績評価は、現地での評価を参考としつつ、本学の担当教員が行います。

（１）受講対象　：　学部 3・4 学生、博士課程前期課程院生
（２）授与単位　：　４単位
（３）科目名　：

A）　IT 研修コース		
学部	単位	単位授与科目
情報理工	4 単位	専門科目分野・キャリア養成科目 「海外ＩＴ研修プログラム（インド）」
情報理工学研究科		<2014 入学生>共通科目「海外実習」（4 単位） <2013 以前入学生>共通科目 「海外実習」（2 単位）×2

（４）評価　　：　本学の基準に基づいて 5 段階評価
（５）本学担当教員　：　情報理工学部/研究科　高田秀志 教授、DAUER HARRY 准教授、市村 真希 講師
（６）その他　　：　後期開講科目として取扱います。また、単位は受講登録制限外です。
期間と重なる夏期集中講義の受講・受験はできません。

５．応募方法

（１）申込み方法
情報理工学部 HP より Web 申込み
※十分余裕を持って申し込んでください。期日時以外は受け付けません。

【学部生】
http://www.ritsumei.ac.jp/students/ise/student/
※「みらい塾」の「海外プログラム等」から申込みページにアクセスできます。
情報理工学部 HP＞ 在学生のみなさんへ＞ みらい塾＞ 海外プログラム等

【大学院生】
http://www.ritsumei.ac.jp/students/gsise/student/
※「みらい塾」の「海外プログラム等」から申込みページにアクセスできます。
※情報理工学研究科 HP＞ 在学生のみなさんへ＞ みらい塾＞ 海外プログラム等

（２）受付期間
2015 年 4 月 13 日（月）～5 月 13 日（水）10：00 まで

６．選考

申込時のレポートを重視した書類選考を経て派遣者を決定します。結果発表は、個別 RAINBOW メールでお知らせします。

結果発表：　5 月 21 日（木）

７．今後の流れ（予定）

4 月 15 日・16 日・21 日・24 日	プログラム説明会に参加、募集要項の入手
5 月 13 日（水）10：00	申込み締切
5 月 21 日（木）	参加許可者発表
5 月 24 日（日）13：00～16：10	保健センターガイダンス（予防接種・健康管理） 危機管理ガイダンス　@衣笠キャンパス（詳細は後日周知）
5 月 27 日（水）18：00～19：30	事前ガイダンス（合同）　@クリエーションコア CC101
6 月 4 日（木）18：00～19：30	事前講義①　クリエーションコア CC201
6 月 11 日（木）18：00～19：30	事前講義②　クリエーションコア CC201
6 月 18 日（木）18：00～19：30	事前講義③　クリエーションコア CC201
6 月 25 日（木）18：00～19：30	事前講義④　クリエーションコア CC201
7 月 2 日（木）18：00～19：30	事前講義⑤　クリエーションコア CC201
7 月 16 日（木）16：30～（予定）	出発前最終ガイダンス・結団式　@コラーニングハウスⅡC606
8 月 8 日～9 月 11 日	現地研修
10 月 10 日（土）12：30～17：30	事後講義　クリエーションコア CC201

※（予定）となっている日程については変更の可能性があります。変更の際は参加者へ個別メールにてお知らせします。

８．参加費用

（１）参加費用（概算）　＊参加人数によって若干増減します。
550,000 円程度
－（海外留学 PG 奨励奨学金 76,000 円＋渡航費/プログラム費大学負担 367,000 円）＝実質 100,000 円程度
＊学部生には海外留学 PG 奨励奨学金（76,000 円）、院生には研究実践活動補助（50,000 円）が支給されます。これらの奨学金は研修後に支給されますので、奨学金にあたる金額は、一旦負担いただく必要があります。

○参加費用に含まれるもの：

現地研修費用（授業料他）、現地ホームステイ・宿泊費、現地空港送迎（往復）、往復航空券、国内・現地空港税、燃油サーチャージ、航空保険料、海外旅行傷害保険料、ビザ取得費用

○参加費用に含まれないもの：

パスポート取得費用、日本国内の交通費、現地食費（追加分）、現地での個人費用（行動費、電話代、医療費など）、超過手荷物料金など

◆日本学生支援機構海外留学支援制度（短期派遣）の支給

一定の成績基準と家計基準を満たし、研修後にレポートを提出することで、日本学生支援機構より奨学金（120,000 円/人）が支給される場合があります。申込み受付後、該当者には別途ご案内いたしますので、別途申込みをする必要はありません。

◎成績基準：文部科学省成績評価係数 2.30 相当（GPA3.5 程度）以上（前年度成績）
◎語学基準：TOEIC®400 点以上（TOEFL®の場合、PBT (Paper-Based-Test) 435 点以上、iBT(internet-Based-Test)41 点以上、TOEIC Bridge®141 点以上。
IELTS の場合、5.0(Academic Module)以上）、もしくは前年度の語学成績で成績評価係数 2.30 相当以上
◎家計基準：年収・所得の上限 給与世帯 955 万円程度、給与所得以外の世帯 469 万円程度

（２）参加費に関する留意事項

①参加費用は参加者 20 名をベースに算出したプログラム費用です。参加人数によって費用が増減します。
②利用する航空機の適用運賃・料金が、著しい経済情勢の変化などにより、通常想定される程度を超えて改訂されるときは、参加費用を変更することがあります。
③外国為替レートの関係で、現地研修費用・航空運賃等が変更し、参加費が変動する場合があります。
④上記参加費用はあくまでも目安です。上記①～③の事由等で研修費用が上記概算金額より大きく変更する場合は、参加費確定前に参加者に連絡します。
⑤参加確定後にキャンセルした場合は、キャンセル料が発生します。

９．応募前の確認事項

（１）海外に身を置き学び、生活することは、かけがえのない貴重な経験となると同時に、時には困難やストレスを伴うことが予想されます。現地滞在中の様々なトラブルについては、基本的に自己の責任において対処することになりますので、現地においては十分な自覚を持ち、責任ある行動を心掛けてください。

（２）健康面に関して、プログラム参加学生は定期健康診断を受診していることが必要です。受診していない方は必ず保健センターに相談してください。また健康上の不安がある場合は、必ず保健センター医師に相談してください。

（３）本学の指定する海外旅行傷害保険に全員加入することを義務付けます。個別に他の保険に加入している場合も、本学の指定する海外旅行傷害保険に加入してください。

（４）個人情報の取り扱いについて

書類に記入してもらう個人情報は、派遣者の選考・渡航に関する手続や本学からの連絡、および今後のプログラム内容の改善を図るため、個人が特定されない学内統計資料の作成目的のみに使用されます。また、派遣先大学および旅行代理店・保険会社に対して、渡航手続・保険手続を進める上で必要な情報についてのみ提供されます。

◆お問い合わせ先◆

立命館大学 情報理工学部事務室
〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1 クリエーションコア 1 階
TEL: 077-561-5202 FAX: 077-561-5203
メールアドレス： itprj2@st.ritsumei.ac.jp
窓口時間： 月 12：30-17：00、火～金 10：00～17：00（11：30～12：30 を除く）

以上